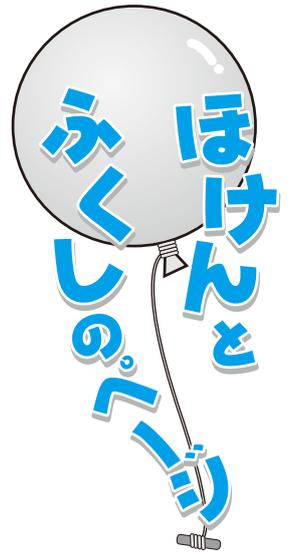


5/22

子どもたちが豆の種まき



▲大人の参加者と一緒に豆の種をまく子どもたち



秋の収穫が楽しみ

村内3小学校の1〜2年生104人が、草野字車地内の畑に豆の種をまきました。「まめっ子ばたけ」と名付けられたこの畑は、本田八郎さん(草野)の所有地で、このうち約10アールの面積を借りています。

この種まきは、健康食材である豆を題材にした食育を推進しようと、村が今年度「まめでまめな子育て事業(食育による子育て事業)」の一環として初めて取り組んだものです。

また、村第5次総合振興計画にも「豆で達者に」をキーワードに、食育や健康づくりを進める施策を掲げています。

この日は、子どもたちのほか、食を考える会やJA農青連、村職員など30人が参加し、種まきを手伝いました。

種まきに先立ち、菅野教育長が「豆は健康で元気な体をつくる食べ物です。たくさん実がなるようにお願いしながら種をまいてくだ

さい」とあいさつしたの続き、県農業普及部の横尾さんが豆の種類や含まれる栄養分、種のまき方などについて説明しました。



▲豆の種類を説明する県農業普及部の横尾さん

この後、豆の入ったコップを受け取り畑に入った子どもたちは、一列に並び丁寧に豆の種をまいていきました。

種まきを終えた子どもたちは「畑が広がって疲れたけど、たくさん実がなつてほしい」「秋に給食で食べるのが楽しみ」などと話していました。

この日植えた豆は、秋に収穫し学校給食の材料として使われます。

6月24日(日)は「まてい子育てクーポン交付式」

○とき…6月24日(日)

午前10時～

○ところ…いちばん館



▲種まきのようす

福島県では、市町村が独自に取り組む子育て事業に対して支援する「地域の子育て応援交付金」を今年度から始めました。今回の事業にもその交付金が充てられています。